

## 第2号議案

### 広域予備率のWeb公表に係る開発及び運用・保守の業務委託に関する入札の 落札者決定について (案)

第298回理事会(2021年5月26日開催)の決議に基づき実施した、広域予備率のWeb公表に係る開発及び運用・保守の業務委託の入札実施について、入札説明書の規定に基づき、受領した入札書及び提案書並びにプレゼンテーションにより総合評価を行った結果は別紙1のとおりである。別紙1の事業者を落札者として決定し、契約に関する協議を行うこととする。

別紙1：総合評価の結果について

別紙2：低価格調査の結果について

以上

(参考)

落札者との契約の締結については、別途理事会に付議する。

## 総合評価の結果について

入札説明書の「評価手順書（加算方式）」に基づき、以下のとおり総合評価を実施した。

## 1. 応札者

- ・ A社
  - ・ B社
  - ・ C社
- 以上3社

## 2. 評価方法

技術点および価格点を算出し、その合計（総合評価点）の最も高い者を落札者とした。

※価格点＝価格点の配分 × (1 - 入札価格<sup>(注1)</sup> ÷ 予定価格)

注1：入札価格＝構築費用 + 5年度分保守費用

※配点は技術点100点、価格点100点とした。

## 3. 評価結果

下記の評価結果により、Cを落札者とした。

#	応札会社	総合 評価点
1	A社	—(※)
2	B社	—(※)
3	C社	127

※入札価格が予定価格超過のため審査対象外(入札説明書第8項に基づく評価)。

なお、価格点評価は技術点評価後に実施した。

(参考：入札説明書第8項より)

## 8. 落札者の決定方法

電力広域的運営推進機関が設定する予定価格の制限の範囲内で、電力広域的運営推進機関が入札説明書で指定する要求事項のうち、必須とした項目の最低限の要求をすべて満たしている提案をした入札者の中から、電力広域的運営推進機関が定める総合評価の方法をもって落札者を定めるものとする。

以 上

## 低入札価格調査の結果について

「広域予備率のWeb公表に係る開発及び運用・保守の業務委託(2021年5月28日公示)」(以下「本件」という。)については、予定価格内で総合評価方式をもって応札したC社(以下、「当該事業者」という。)の価格が予定価格を大幅に下回ったため、下記の通り低入札価格調査を実施した。

## 記

当該事業者の本件履行の可否について、以下の調査結果を踏まえ可能と判断いたします。

## 1. 低価格事由

当該事業者が当機関から別途受託済みの保守業務作業を考慮し、共通となる固定費を削減した提案となっていること、アジャイル開発を前提として効率的に工期を短縮した提案となっているなどの理由により、応札価格が実現できたと判断した。

なお、当該事業者の提案は要件定義書の内容を網羅しており、要件を削除したための低価格ではない。

## 2. 履行の可否

本件の従事予定者には類似の業務実績、クラウド利用やアジャイル開発の経験があることを確認しており、履行面で問題は生じないと判断できる。

以上